

## 式辞

春の息吹を感じる今日の佳き日、保護者の皆様のご臨席を賜り、茨城県立鹿島高等学校附属中学校、令和6年度卒業証書授与式を挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

卒業証書を受け取る皆さんの表情からは、中学校三年間、義務教育九年間の学びを経て、立派に成長した自信と誇りが感じられます。この三年間、皆さんは勉学に励み、学校行事、部活動や生徒会活動などに挑戦し、友人との絆を深める中で、多くのことを学び、お互いに励まし合いながら努力を重ねてきました。その姿は、在校生や教職員に感動と勇気を与えてくれました。心から感謝します。

さて、世界的物理学者の大栗博司氏は、著書『探究する精神』の中で、学びの目標について次のように述べています。

「大学までの勉強には次の三つの目標があると考えています。

- 1 自分の頭で考える力を伸ばす
- 2 必要な知識や技術を身に付ける
- 3 言葉で伝える力を伸ばす」

卒業生の皆さんは、この三年間、さまざまなことに挑戦し、探究し、多くを学びました。その過程で、この3つの力、自分の頭で考える力を伸ばし、必要な知識や技術を身に付け、言葉で伝える力を養ってきました。本校三期生として、素晴らしい活躍を随所に見せてくれました。そして今、新たなステージへと旅立つ皆さんには、これまで培ってきた力を土台に、新たな目標を掲げ、その達成に向けて努力し、さらに大きく成長していくことを期待しています。

保護者の皆様には、この三年間、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。皆様の温かい支えがあったからこそ、子どもたちはここまで成長することができました。

卒業生の皆さんには、これまで支えてくださったご家族に感謝の気持ちをしっかりと伝えていただきたいと思います。

結びに、希望に満ちた新たな門出にあたり、皆さんの前途に幸多からんことを心より祈念し、式辞といたします。

令和7年3月14日

茨城県立鹿島高等学校附属中学校校長 小沼 浩幸